

令和4年度

ひきこもり・不登校の子ども・若者を支えるための

ボランティア育成研修

人や社会とつながることに

困難を抱えている子ども・若者がたくさんいます。

県内には、ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体がいくつもあります。

神奈川県では、このような支援団体で活動してみたいという方を募集します。

支援団体にとって、子どもたちに関わってくれる人材は貴重です。

みなさまのご参加をお待ちしています。

対象

- ・ひきこもり・不登校の子ども若者支援にこれから携わりたい方、NPO等のボランティアに参加したい方
- ・現在ボランティア活動等に携わっており、ひきこもり・不登校の子どもへの理解を深めたい方



不登校・ひきこもり当事者の理解

各団体での支援活動紹介

意見交換グループワーク

日時: 令和5年2月11日(土)10時から16時30分まで
2月26日(日)9時から16時まで

場所: 神奈川県立青少年センター3階研修室1
横浜市西区紅葉ヶ丘9-1

申込期間: 令和5年2月1日(水)17時まで

※ 新型コロナウイルス感染状況によってはオンライン開催する場合があります。

申込・センターHP



主催 神奈川県立青少年センター

お問合せ 青少年サポート課 ☎ 045-263-4467 (9:00~17:00(除月曜日及び12/28から1/4))

申込は当センターHPから電子申請システムでご応募ください。

< 1 日目 >

時間	内容	講師
10時から12時	ひきこもり・不登校概論 質疑応答	福井 里江 (東京学芸大学准教授)
12時から13時	昼休み	
13時から14時40分	困難を抱える若者への理解 質疑応答	和田 重宏 (NPO法人子どもと生活文化協会顧問)
14時40分から50分	休憩	
14時50分から16時30分	当事者の気持ちへの理解 質疑応答	丸山 康彦 (ヒューマン・スタジオ代表)

< 2 日目 >

時間	内容	講師
9時から12時10分	各団体の活動紹介 (団体説明40分、質疑応答20分) 途中休憩10分あり	NPO法人楠の木学園 NPO法人ぜんしん NPO法人フリースクール鈴蘭学園
12時10分から13時10分	昼休み	
13時10分から15時30分	グループワーク	
15時30分から16時	各グループ発表	

< 講師略歴 >

- 福井 里江 (東京学芸大学准教授)
公認心理師、臨床心理士、博士(保健学)。
ひきこもりや不登校について、家族支援やスーパーバイズに長年取り組んでおり、国や自治体における講演会や研修会にも多数関わっている。2021年度より、東京都ひきこもりに係る支援協議会委員、日本臨床心理士会ひきこもり対策専門委員会委員に就任。
- 和田 重宏 (NPO法人子どもと生活文化協会顧問)
横浜国立大学を卒業し、公立中学・高校に勤務。その後、父の重正氏が立ち上げた『寄宿生活寮 はじめ塾』を引き継ぎ、塾長となる。以来、青少年期の一時期に親元を離れ、異年齢の仲間達と寝食を共にする寄宿生活教育に携わる。1992年に『子どもと生活文化協会 (CLCA)』を設立。2002年から会長、現在は顧問。
- 丸山 康彦 (ヒューマン・スタジオ代表)
不登校のため7年かけて高校を卒業。大学卒業後、高校講師となるが退任後ひきこもり状態になり、7年後に社会復帰し2001年に民間非営利相談機関「ヒューマン・スタジオ」を設立。現在、藤沢市社会福祉協議会にも関わる。
- NPO法人楠の木学園
「子どもたちは誰もが、自らが抱える課題を解決する力を持っている」という信念に基づき、その力を引き出し、子どもたちに「生きる力」を身につけてもらうことが、フリースクール楠の木学園の教育理念です。
- NPO法人ぜんしん
不登校・ひきこもり・ニート等の問題で悩みを抱えている皆さんに対し、「NPO法人ぜんしん」は、元不登校・ひきこもり当事者が「居場所」を設け、各種のプログラムを提供し、復学・進学・就労といった自立を支援しています。
- NPO法人フリースクール鈴蘭学園
不登校・ひきこもりやいじめ、家庭の問題や非行、そして障がいなど様々な生きづらさを抱えている本人、その保護者の方が鈴蘭学園を活用することで自信を取り戻すきっかけとなり、楽しい日々を取り戻すように活動しています。